

産科・婦人科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	子宮がん患者リンパ球を用いた HPV-E7 抗原に反応するヒト型抗体の作製と治療への応用に関する検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	研究創出支援センター
研究責任者	(職名) 特務教授 (氏名) 吉川和宏
研究の意義・目的	子宮がんの発生原因であるヒトパピローマウイルス(HPV)の産生する遺伝子産物 E7 に対して、遺伝子組換え技術で抗体を作成し、子宮頸がんなど HPV 感染を原因とするがんの治療に応用することを目的として実施します。
対象となる患者さん	子宮がんと診断され、がん組織の摘出術を受けられる患者さん
研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> 手術により摘出されたがん組織で、HPV の感染の有無を検査します。 HPV の感染が確認された患者さんを対象に、がん組織近傍のリンパ節の一部を利用していただき、患者さんのリンパ球が産生する HPV-E7 と反応する抗体の遺伝子を取り出し、遺伝子組み換え技術を用いて治療用抗体を作成します。 この抗体を用いて、HPV 感染が原因となるがんに対する治療効果を検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：治療のため摘出されたがん組織、がん組織周辺のリンパ節 情報：診療情報
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学 研究創出支援センター 担当者：(職名) 特務教授 (氏名) 吉川和宏 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 11436)